

演奏について

ここ2,3年クラシック人口の増加に伴なつて各地で学生オーケストラの在り方といったことが問題になつてきています。

私達神戸大学交響楽団でも事ある毎に議論されておりますが、その主な点は、学生指揮者と演奏会です。

幸にして前者の方は、私達の場合、年々適任者を見い出し、さほど悩まされておられません。後者の場合、演奏会がオーケストラ活動の目的なのか、或は活動の一つの手段にすぎないのか、という訳です。

入場料を支払つて来て下さる聴衆の方を考えると拙い演奏は失礼だ。そのためには学業を少しばかりさしおいてもよし、又本番当日には少しプロの方にお手伝い願うのもやむをえない。

「目的」と考えるとこうなります。更に、少々まずくても学生の雰囲気がかつてもらい、学生の手ではどの程度まで演奏できるものかを聴いて頂く、それでいいのだから無理な練習は避けた方がよいこう考えると「手段」になります。

ここに、今年各演奏会の模様をお伝えし皆様の御一考をお待ちしたいと存じます。

大 学 祭 (5月14日)

5月、鯉のぼりが上り、学生も1年上つたり、そのままだつたり……、そしてfreshmenの登場でドタバタする間もなく、大学祭が行なわれ、私達も活動を開始します。国際会館に始めて上つて、体も浮き上りそうになるのを楽器の重みで支える1年生もおります。この舞台を終えて、ぼつぼつオケ部員タイプになつていくのです。でもこの演奏会の際は練習期間が短いので、満足な演奏を聞いてもらえないのが残念なことです。そしてそれから1年の旅路が続くのです。

安 く て  
美 味 し い  
広 東 料 理

牡 丹 園

花 隈 牡 丹 12月上旬開店

元 町 駅 下 ル 鯉 川 筋 本 通

TEL ③ 2141 ④ 2763

## 旧三商大合同音楽会（6月17日）

一橋大学、大阪市立大学、神戸大学の旧三商大のグリークラブと交響楽団、つまり6つのクラブの合同音楽会一昨年は大阪、昨年は東京、そして第9回にあたる今年は当地神戸国際会館で行なわれた。グリー200人以上、オーケストラ90人以上という非常に大規模な演奏会であつた。会場も満員であつた。しかし、規模が大きければ大きい程運営がむずかしくなるのが世の常である。大阪はともかく、東京一神戸間500キロをうまくまとめるには時間もないし、経費が不足する。それだけならいいが、問題は音楽である。合同練習をするのはただの2日や3日である。これでは音楽なんてものを望むのが無理というもの。そこで演奏会終了後の三大学合同反省会では意見百出。一橋は廃止、市大は存続論。しかし改革の名案もなく、オーケストラの部は廃止が決定しました。

（グリークラブの方は今後も続けていく。）発足以来9年長らく皆様から親しまれました三商大音楽会も来年からはオーケストラが姿を消します。発展的解消です。私達神戸大学オーケストラは、来年は、三商大出演のかわりに、新しい企画でみっちり練習して、来年はすばらしい演奏をお聴かせするつもりです。御期待下さい。

## 合 宿（8月2日～10日）

1月に準備にかかり、候補地を名古屋にしてから半年以上の準備期間を経てから、8月2日に神戸を出発し、重い楽器を運んで炎天下の名古屋に到着。それから1週間以上、戦前の兵舎跡にとじこもり、心の和と芸技の向上を目的とする合宿も、演奏会を目前にして、練習と練習のあい間に飯を食べ気を一新するのみ。悪い食事ではありましたが、風邪もひかず、病気もせず、皆よく頑張りました。9日の演奏会本番は、反響板やひな壇を皆で組みながら、午後からの風雨に心配させられましたが、皆の努力が天に通じたのか、開場前には雲は遠くに去り、太陽が顔を出したので、ようやく安心しました。予想以上の聴衆に、名古屋在住の先輩の力強い後援に、しみじみとありがたさを感じながら、ふと気がついた時には演奏会は終わっていました。

## 卒 業 演 奏 会

例年、教育学部音楽科専攻者の日頃の成果を発表するため、卒業式を前にひかえて3月下旬に催される演奏会ですが、私達オーケストラも賛助出演を行い、コンチェルト・独唱の援助をすると共に、クラブ活動の大きな行事の一つとなつております。

今年は、指揮者松永君一人による例年のない演奏会を持ち、一部には演奏面で批判もあつた様ですが、最後まで自己の考えに基づき、無事演奏会を終了し得た事は立派だと思えます。

音楽科の学生にとつても、オーケストラ各部員にとつても、学年末の試験を終え寒さもまだ柔らかなない、時期的に苦しい演奏会ではありますが、音楽科・オーケストラ共に、この学年末最後の演奏会を成功させるため力を合わせ努力しております。